

社会学研究科修士課程ではドイツのマルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク（以下、ハレ大学）と合同で2014年度より「ダブルディグリー・プログラム」制度を実施しています。このプログラムは現在、ドイツ国民学習財団とハニエル財団の協力を得て運営されています。定員は若干名で奨学金が支給される可能性があります（詳細は毎年春に掲示、HPを参照）。派遣生の選考は春学期に行います。

このプログラムの目的は、日独の学生がお互いの国の言語に精通し、その言語力をもって研究を行いながら、交流活動を通じて日独の社会・文化に対する理解を深めること、将来的に日独の専門家として社会で活躍できる人材を育成することです。

このプログラムに参加すると、2年間で慶應義塾大学社会学研究科の修士号とハレ大学の修士号（インターカルチュラル・スタディーズ）の二つの修士号を取得できます。修士課程2年間のうち、ハレ大学に留学するのは2年目以降の2学期間です。ハレ大学留学中に取得し社会学研究科で認定された単位は、社会学研究科の修了要件単位に含めることができます。ハレ大学での学費は、交換協定に基づき免除されます。さらに、ハレ大学留学前に語学研修ができ、ハレ大学留学中はチュータープログラムによって、定期的にドイツ語での支援（授業・論文作成に関する支援）を受ける制度があります（但し、留学前に申請が必要）。

社会学研究科に在籍し、ドイツ語を用いて文学、哲学、倫理学、美学、美術史、史学、考古学、民族学、社会思想、社会史などを研究している学生の皆さんの積極的な参加を望みます。

その他、博士課程では、南オーストラリア大学との「ダブルディグリー・プログラム」があります。